

令和4年度 事業報告書

< 目 次 >

目 次	1
本会の組織	2
会務の運営	3～4
地域福祉の推進	5～13
町委託・補助事業	14～22
介護保険事業	23～25
障害者支援事業	26～27
在宅福祉事業	28～36
総合保健福祉センター管理 経営/西津軽郡社会福祉協議会	37～38

<本会の組織>

(令和5年3月31日現在)

任期:令和4年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

【役員:理事・監事】 11名					
会 長	平田 衛	副 会 長	奈良 正樹		
常務理事	齋藤 博				
理 事	一戸 とも子	井上 雅哉	川野 良一		
	金崎 ゆき子	神 直美	豊沢 豊彦		
監 事	増田 晶夫	長谷川 桂子			

任期:令和6年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員】15名					
生田 光子	一戸 忠志	石岡 幸男	井上 信則		
工藤 律子	佐藤 正幸	佐藤 洋輔	須藤 正		
埴見 公平	傳法 忠徳	一戸 浩尚	神 哲也		
菊谷 忠光	吉田 諭大	大澤 雅子			

【事務局長】
井上 雅哉(地域福祉・在宅福祉課長事務取扱)

【総務課】3名
齊藤 誠(課長兼法人係長事務取扱) 三浦 美由紀 西澤 翔吾
主な業務:法人会務・財務会計・共同募金委員会など

【地域福祉課】9名
高木 芙美子 神 幸 森山 成美 石岡 さつき 橘 彩
長谷川 愛 今 雅之 鈴木 孝俊 岩谷 せつ子
主な業務:権利擁護センター事業・支部事業・福祉安心電話・委託事業・たすけあい資金
生活福祉資金貸付事業・生き生きわーくセンター事業など

【在宅福祉課】8名 主な業務:介護保険事業
・在宅福祉係(通所介護)
葛西 真紀 世永 美月 豊澤 千秋 木村恵理子 太田きよえ
對馬 貴子 今 千恵
・居宅介護支援係
澁谷 吏

<会務の運営>

《理事会開催状況》 全4回

回数	開催月日	案件内容	結果
140	令和4年4月19日(火) 総数10名 出席10名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款細則改正(案)について 2. 福祉基金及び積立金規程について 3. 事務局規程改正(案)について 4. 招へい講師の謝金及び旅費規程改正(案)について 5. 正規職員への登用に関する細則改正(案)について 6. 生活福祉資金調査委員会規程廃止について 7. 欠員による評議員の推進について 	原案どおり決議
141	令和4年6月13日(月) 総数10名 出席10名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度事業報告及び決算報告について 2. 令和4年度第1次補正予算(案)について 3. 定款改正(案)について 4. 令和4年度定時評議員会(第91回評議員会)開催について 5. 令和4年度評議員選任・解任委員会開催について 	原案どおり決議
142	令和4年12月21日(水) 総数10名 出席8名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就業規則改正(案)及び契約職員就業規則改正(案)について 2. 給与規則改正(案)及び契約職員就業規則改正(案)について 3. 令和4年度第2次補正予算(案)について 4. 令和4年度第2回評議員会(第92回評議員会)開催について 	原案どおり決議
143	令和5年3月14日(火) 総数9名 出席9名	<ol style="list-style-type: none"> 1. たすけあい資金貸付事業貸付金の欠損について 2. 令和4年度第3次補正予算(案)について 3. 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 4. 令和4年度第3回評議員会(第93回評議員会)開催について 	原案どおり決議

「評議員会開催状況」 全3回

回数	開催月日	案件内容	結果
91	令和4年6月28日(火) 総数15名 出席14名	1. 令和3年度事業報告及び決算報告について 2. 令和4年度第1次補正予算(案)について 3. 定款改正(案)について	原案どおり決議
92	令和5年1月13日(金) 総数15名 出席13名	1. 令和4年第2次補正予算(案)について	原案どおり決議
93	令和5年3月28日(火) 総数15名 出席13名	1. 令和4年度第3次補正予算(案)について 2. 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	原案どおり決議

「監査会開催状況」

開催月日	開催場所	結果
令和4年5月14日(月)	鱈ヶ沢町保健福祉センター会議室	令和3年度分について適正な運営と認める

「定期監査会開催状況」 ※四半期ごとに各事業の実施状況や経理の執行状況について報告しました。

開催月日	開催場所	対象月
令和4年 8月 2日(火)	鱈ヶ沢町保健福祉センター会議室	4月～6月
令和4年11月11日(金)	鱈ヶ沢町保健福祉センター会議室	7月～9月
令和5年 2月20日(月)	鱈ヶ沢町保健福祉センター会議室	10月～12月

「評議員選任・解任委員会」

開催月日	開催場所	結果
令和4年6月17日(金)	鱈ヶ沢町保健福祉センター会議室	評議員選任(2名)

《地域福祉の推進》

地域福祉活動への参加の促進をはかり、住民の主体的活動の充実や高齢者などの活躍の場など地域の実情に沿った地域支援に取り組みました。



<地域福祉の推進>

◆小地域福祉活動事業

社協会費、赤い羽根共同募金、地域歳末たすけあい募金の配分金をもとに、地域の実情に沿った福祉活動に伴う活動を支援しました。

○社協会費の実績

◆社協会費地区別実績◆(単位：円)

	鱈ヶ沢	舞戸	鳴沢	中村	赤石	南金沢
世帯数	778世帯 (△8)	986世帯 (△11)	453世帯 (△22)	373世帯 (△4)	299世帯 (△4)	302世帯 (△7)
金額	367,000	478,000	226,500	185,500	149,500	150,000
備考	町内会によっては定額の所もあり、世帯数と金額にズレは生じます。					

	社協会費 (500円)
R3年	1,580,500
R4年	1,556,500

(単位：円)



○支部協力員数 ※ () 内は、前年度との比較

鱈ヶ沢支部	舞戸支部	鳴沢支部	中村支部	赤石支部	南金沢支部
52名 (+2名)	32名 (±0名)	28名 (△2名)	48名 (△1名)	20名 (△3名)	24名 (△4名)

合計204名(△8名) 3月31日

○ふれあい訪問 (6支部合同で実施) <財源>社協会費・共同募金(歳末)

6月、8月、10月：ふれあい訪問 (箱ティッシュ1箱)
12月：おせち料理配食(鍋焼きうどん、昆布巻き、金時豆、カップおしるこ、甘酒)

○地域をきれいにする活動

地域をきれいにする活動は鱈ヶ沢支部、赤石支部で花壇整備を実施。

○被災世帯への毎戸訪問

5支部(舞戸支部を除く)の支部協力員総勢43名で各種申請手続きや生活状況の調査を実施。



«ふれあい訪問活動»



«被災世帯訪問前のミーティング»

◆予約型買い物支援バスの運行

令和4年5月9日（月）～買い物に不自由を抱える住民に対し福祉バス（ワゴン車）を利用し、移動手段の創出及び高齢者へ活躍の場を提供する。

《利用回数（全体）》

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	36	28	16	22	32	44	38	38	40	24	334

《利用回数（地区毎年間）》

鱈ヶ沢 地区	154
舞戸 地区	88
赤石 地区	88
鳴沢 地区	4
中村 地区	0



《とても喜ばれた買い物支援バス》

○高齢者の外出支援及び買い物に係る移動手段

令和4年9月1日（木）鱈ヶ沢中学校2学年の「ふるさと学習発表会」への参加及び買い物に係る移動手段の提供を実施。参加者18名



◆ボランティア推進校事業 3校（小学校2校・中学校1校）

<財源> 共同募金（一般募金）

8

町内小中高等学校の児童生徒へのボランティア活動の実践と社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域社会への福祉啓発を図ることを目的に各校へ募集したところ3校より応募があり、ボランティア推進校へ指定しました。（※鰯ヶ沢高等学校は申請なし）

学校名	生徒数	交付額	活動内容
舞戸小学校	199名	60,000円	児童会活動（募金活動、空き缶・古紙・プルタブの回収、ヘルマーク回収） 環境整備活動（海岸・海浜漂着ゴミ清掃活動、花壇、畑整備） ふくし作文・絵コンクールへの応募
西海小学校	72名	60,000円	JRC委員会活動（募金活動、空き缶・古紙・プルタブの回収） 花いっぱいになあれ運動（プランターへの花植え） 敬老の日・新年絵手紙交流（学区内の一人暮らし高齢者への絵手紙送付） ふくし作文・絵コンクールへの応募
鰯ヶ沢中学校	177名	60,000円	共同募金・収集ボランティア活動（募金活動、古紙回収） 災害時の活動（被害のあった家庭へ手紙の送付：2学年） 合唱コンクールへ老人クラブ等招待活動（10月15日（土）鰯中祭、合唱コンクールに町内の高齢者を招待） ふくし作文・絵コンクールへの応募



「プルタブ収集活動・プルタブが車いすになるまでを説明」



「合唱コンクールに招待」

◆社協だより「ふれあい」発行事業（情報提供・発信の充実）

<財源> 共同募金（一般募金・歳末募金）・社協会費

 <http://ajisyakyo.justhpbs.jp>

9

福祉サービスに関する適切な情報が得られるよう、情報提供の充実を図りました。

○社協だより「ふれあい」発行

社協の役割や事業など福祉啓発の推進を図るため、年2回（4月・11月）発行しました。

○SNSの活用

ホームページ・Facebook・Instagramを随時更新し、最新の情報を提供するほか社会福祉法に基づき法人運営に関連する情報開示を行いました。



◆鯨ヶ沢町地域福祉推進大会

<財源> 共同募金（一般募金）・社協会費

開催月日：令和5年2月7日（火） 場 所：舞戸公民館 参加者 150名

講 演：「OPEN JAPANの活動」一般社団法人OPENJAPAN 緊急支援担当 手代 千賀 様

活動報告：「発災3日後からの被災者支援 172日の軌跡」鯨ヶ沢町社会福祉協議会 地域福祉課

・鯨ヶ沢町手話言語条例施行後、初めて手話通訳を依頼。聴覚障害者の方にも地域福祉について理解してもらう機会となった。

・展示・販売：赤石水産漁協女性部 手話サークルはまなす
地域活動支援センターやすらぎ 合同会社再び



○令和4年度 鯉ヶ沢町社会福祉協議会会長表彰者（4名）

相馬 裕子 日照田 ちか子 小野 景子 橘 彩

○ふくし作文コンクール○（応募総数：53作品）

【小学生低学年の部】	
最優秀賞:太田周助（おおた しゅうすけ）	舞戸小1年
優 秀 賞:斎藤妃乃（さいとう ひの）	舞戸小2年
【小学生高学年の部】	
最優秀賞:杉森叶実（すぎもり かなみ）	西海小5年
優 秀 賞:工藤暖人（くどう はると）	西海小5年
佳 作:千田仁之亮（ちだ じんのすけ）	舞戸小4年
【中学生の部】	
最優秀賞:白戸心（しろと こころ）	鯉ヶ沢中2年
優 秀 賞:小笠原広祐（おがさわら こうすけ）	鯉ヶ沢中2年
優 秀 賞:大谷穂高（おおたに ほだか）	鯉ヶ沢中2年
佳 作:岩本英大（いわもと えいた）	鯉ヶ沢中1年
【高校生の部】	
最優秀賞:山下駿介（やました しゅんすけ）	鯉ヶ沢高校3年



○ふくし絵コンクール○（応募総数：26作品）

【小学生低学年の部】	
最優秀賞:工藤悠斗（くどう ゆうと）	西海小3年
優 秀 賞:佐藤葵（さとう あおい）	西海小2年
優 秀 賞:會津歩武（あいづ あゆむ）	西海小1年
佳 作:富元茉莉花（とみもと まりか）	西海小2年
佳 作:松山由奈（まつやま ゆきな）	西海小1年
【高校生の部】	
最優秀賞:一戸綾奈（いちのへ あやな）	鯉ヶ沢高校2年

◆障害者スポーツ教室

<財源> 共同募金（歳末募金）

目 的：障がいを持つ仲間たちと軽スポーツを通してふれあいの時を持ち、互いに思いやり、助け合いながら気分転換を図る。

開催月日：令和5年1月28日（土）

開催場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：7名



○生き生きわーくセンター事業

高齢者の生きがいの充実、活躍の場の提供及び長期のひきこもり者に対する就労訓練の場として令和3年7月に生き生きわーくセンターを立ち上げた。当初は5名だった会員は18名となっている。

一般（地域住民）、公的機関（町役場、観光協会）からの依頼を請負、作業内容や会員の能力に応じた作業を提供した。

<意見交換会・研修会の開催>

事業運営に会員の意見を反映させるため、会員の交流の場としての意見交換会や会員の技術向上のための研修会を開催しました。

①令和4年4月27日（水）市町村有償運送運転者講習会（参加者：5名）
予約型買い物支援バスの運転のため、運行前後の車両の確認や、運転時の注意などを学んだ。



②令和4年6月8日（水）刈払機取扱作業安全衛生教育（参加者：5名）
刈払機の取り扱いの注意点などを専門の講師より学んだ。



※新たに加入した会員等に対し①・②の研修会を実施しました。

○依頼件数（一般：草刈り、粗大ごみ処分、窓ふき等）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3件	3件	10件	4件	4件	4件	4件	5件	4件	3件	7件	2件	53件

<収入> ①地域住民（一般） 53件 565,036円
②鯉ヶ沢町委託（環境整備：草刈り、除雪） 1,379,301円
合計：1,944,337円



鯨ヶ沢町災害ボランティアセンター・被災者支援センター

◆鯨ヶ沢町災害ボランティアセンター：令和4年8月12日（金）～令和4年9月9日（金）

◀ 1回目 ▶ ボランティアセンター開設前の訪問（一人暮らし及び高齢者世帯を対象に被災状況の確認）

舞戸地区7町内毎戸訪問（8月10日・11日）

◀ 2回目 ▶ 健康調査及び床下関連調査（鯨ヶ沢町と協働で実施）

舞戸地区7町内毎戸訪問（8月17日～26日） 対象世帯：186世帯

○一般ボランティア作業

支援件数	197件	運営応援スタッフ
ボランティア延べ人数	834名（県内外へ募集）	県内社協 （15社協）
作業内容	家財道具の運搬・搬出、泥掃き出し、 泥上げ、災害ごみの回収	103名



◆鯨ヶ沢町被災者支援センター：令和4年9月16日（金）～令和5年1月31日（火）

◀ 3回目 ▶ 各種申請手続き及び床下関連調査（社協支部協力員（舞戸支部除く）同行訪問）

舞戸地区7町内毎戸訪問（9月12日～26日） 対象世帯：363世帯

◀ 4回目 ▶ 被災世帯の把握と生活状況調査

舞戸地区7町内毎戸訪問（11月2日～30日） 対象世帯：363世帯

※冷蔵庫や暖房器具がない世帯、生活再建支援金に該当するのかなど生活に関する困りごとがあった。

（日常生活緊急支援センター事業を活用し、冷蔵庫とファンヒーターを貸し出した）

（カビが発生し咳等の症状がみられた方には、治療を進め、入院中に職員で掃除を実施）

（行政職員や民間企業からもボランティアで参加し家具の移動をした）

◀ 5回目 ▶ 生活状況調査と各種申請状況の確認

舞戸地区7町内毎戸訪問（1月23日～31日） 対象世帯・店舗：425世帯



生活復旧支援業務委託料（鯨ヶ沢町）	1,463,716円
災害活動拠点事務所支援金 （青森県共同募金会）	1,585,800円

※ケルヒャーなどの備品の購入や軽トラックのリース代など運営費として使用

★一般社団法人OPENJAPN・KEEN・JUMP・ボランティアチーム援人等のボランティア支援

支援内容：家屋の復旧に向けての作業（床下の確認、床下、壁断熱材撤去等）

期 間：8月26日～10月29日 現場確認世帯数：47件 作業実施世帯数：21件

活 動：床下関連での依頼があった全ての世帯(47件)へ現場の確認に行き床下の確認。作業が必要ない世帯であっても床下の乾燥や消毒方法など復旧に向けてアドバイスをを行った。時には、依頼者の心情を理解し作業を行った世帯もある。確認してもらうことで被災者からは安心してもらった。

※OPENJAPN等の団体が、いつまで滞在できるかわからない状況だったことから、継続した支援活動ができるよう生き生きわーくセンターの会員の方々や社協職員が断熱材の剥がし方、床下の乾燥状況の確認の仕方等を教わった。



«わーくセンター会員とOPENJAPANの方»



«床下にもぐり作業をおこなった»

《町委託・補助事業》

◆包括的相談支援事業

福祉事務所未設置町村による相談事業（町委託事業 委託料：5,000,000円）

15

（重層的支援体制整備事業の相談事業の1つとして実施しました）

福祉事務所を設置していない町村において、生活困窮者及び生活困窮者の家族その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、県との連絡調整、自立相談支援事業の利用勧奨その他の必要な援助等を行うことにより、生活困窮者に身近な行政機関における支援体制の構築に取り組みました。

- 【相談支援など】 相談支援（多機関協働事業で対応したケース）：1件
 （アウトリーチ等を通じた継続的支援体制整備事業での対応したケース）：1件
 通常相談（単独の問題で通常通り対応したケース）：4件

相談の概要	課題に対する支援内容
収入は一定程度あるが生活が苦しい（2件）	・相談に来たが知人より借入できた 1件 ・相談に来たが自分で解決した 1件
水害により生活が苦しい（1件）	・生活再建支援金等提案
食べるものがない（1件）	・フードバンク（日常生活緊急支援センター）の提供

○生活福祉資金特例貸付相談ケース 3件

相談件数	理由
緊急小口貸付（1件） 総合福祉資金貸付（1件）	新型コロナウイルス感染症の影響により勤務日数が減少し収入減少 新型コロナウイルス感染症の影響により来客減少し収入減少等
生業経費貸付（1件）	店舗が水害を受け設備等の補修、購入するための費用として ※他制度優先であるため金融機関へ繋ぐ

※貸付決定者へ貸付後も引き続き生活状況が好転しなかった場合は、本会へ相談するよう電話での助言を行いました。

○都道府県との連絡調整・支援のサポート

生活困窮者自立支援事業西北窓口と支援に関わる連携方法等を確認。各関係機関との情報共有や情報提供をする事で速やかに緊密な連携に努めました。

- ①会議等への出席 令和4年10月12日（水）多機関協働事業から生活困窮者自立支援事業へ繋ぐため
 令和5年2月14日（火）モニタリングのため
 令和5年3月22日（水）多機関協働から生活困窮者自立支援事業へ繋ぐため生活困窮者自立支援事業西北窓口と支援に関わる連携方法等にかくにん。各関係機関との情報共有や提供をする事で緊密な連携に努めた。
- ②支援のサポート体制 対象者について生活困窮者自立支援事業西北窓口担当者と密に情報共有し現況把握に努めました。

◆アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

(町委託事業：委託料 1,499,210円)

(重層的支援体制整備事業の相談事業の1つとして実施しました)

16

①地域座談会

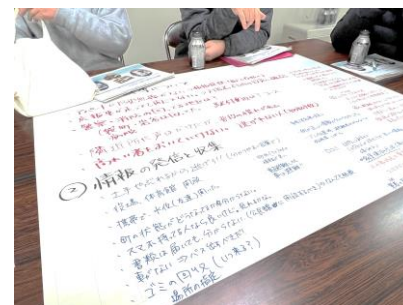
≪目的≫

災害時において、自分や家族、近隣住民、援助が必要な方々を守るためには、普段からの取り組みや備えが必要であることから、安心安全な生活が送れるよう自分の住んでいる地域の要援護者の支援や防災について学び、見守りの強化を図ることを目的に開催。

【開催月日】 令和5年2月20日(月) 【開催場所】 舞戸公民館

【内 容】 1) 活動報告「過去と未来を繋ぐために～ひとりもとりこぼさない～」
2) ワークショップ

参加人数：新田町(9名) 宮浜(5名) 高森(1名)



②相談支援

令和3年4月に開設したLINE相談窓口を活用し、電話や面談以外で相談できる体制を構築。さらに、地域住民等からの困っていることを自ら発信できない方の情報提供から支援に繋げる体制を整備するとともに、その周知を行う。

◆多機関協働事業 (町委託事業：委託料 14,806,190円)

(重層的支援体制整備事業の相談事業の1つとして実施しました)

複合的な課題を抱える対象者に対し分野(高齢、障がい、子ども、生活困窮)を問わず包括的な相談支援の実施、支援プランの作成をしました。

相談受付件数：2件(前年度から継続中：6件 相談受付のみ1件)

支援プラン策定件数：2件(現在継続支援中2件、終結5件)

【主な相談概要】※1ケースにつき複数の選択あり)

収入・生活費について(2件)、病気や健康・障がいについて(2件)、家賃やローンの支払いについて(1件)

債務について(1件)、権利擁護について(2件)

「相談件数」

	支援件数	終結	継続
令和3年度	23件	17件	6件
令和4年度	7件	5件	2件

◆参加支援事業 (町委託事業：委託料 167,200円)

(多様な居場所づくり)

①生き生きわーくセンターとの連携

高齢者の生きがいの場、生活困窮者やひきこもり者等に対して就労機会を提供し、一時的に収入を得ること、また、一般就労が難しい方に対し、就労訓練の機会を提供し社会との繋がりづくりに向けた支援をする目的で「生き生きわーくセンター」を活用する。

(マッチング機能の充実)

①就労チャレンジ会議の開催

ひきこもりや長期離職者などが働くことを通じて生きがいや生活費の確保、就労支援、社会参加ができるように、また人口減少による地域産業の労働力不足解消に向けて産業分野と連携し、地域福祉の推進と町の地域産業全体の活性化に寄与することを目的に令和5年3月13日(月)に開催した。

《参集範囲》農林関係者、水産関係者、宿泊・観光関係者、鯉ヶ沢町商工会、鯉ヶ沢町観光協会

《参加者》10名



《重層的支援体制整備事業》
広報ふれあい・広報あしがさわに掲載



《就労チャレンジ会議の様子》

②就労チャレンジ研修会の開催

障がいのある方も特性に応じて活躍することができる社会を目指すため、障がいの特性や理解を深めることを目的に開催。

開催日：令和5年3月23日（木）

場 所：鱒ヶ沢町総合保健福祉センター

講 師：就労継続支援事業所B型「鶴花塾」館長

《参集範囲》農林関係者、水産関係者、宿泊・観光関係者、
鱒ヶ沢町商工会、鱒ヶ沢町観光協会

《参加者》10名



《研修会の様子》

◆地域づくり事業（共助の基盤づくり事業）（町委託事業：委託料 227,000円）

（重層的支援体制整備事業の相談事業の1つとして実施しました）

生活困窮者に対し、一時的に必要な家電や食料品を提供することにより生活困窮者の自立を促す取り組みと、町民から不要になった家電や食料品等を寄付していただく取り組みを一体的に行う日常生活緊急支援センターを設立した。

《支援実施》

相談の概要	課題に対する支援内容等
水害により暖房器具、冷蔵庫が故障したが購入費用がない	暖房器具、冷蔵庫の貸し出し（1件）
給料日前で生活費が不足し食べるものがない	フードバンクの提供（5件）
生活保護費支給までの間、食べるものがない	フードバンクの提供（4件）



《日常生活緊急支援センター》
《冷蔵庫・暖房器具貸し出し》

◆生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業

(委託料:7,500,000円)

生きがい・介護予防につながるよう、ふれあいの場づくりや高齢者が活躍できる場の充実を図るために事業を実施しました。

◎生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務

○高齢者ふれあいの場の新規開設への相談、申請等の支援
・新規開設 (1ヶ所)

①浜町町内会 (浜町) 浜町集会所 開設年月 令和4年11月

現在の設置地区：館・岩谷・新田・東町・小夜・本町・大和田・漁師町
赤石・種里・一ツ森・中村・中下・浜横沢／長間瀬
鳴沢駅前／保木原・小屋敷・建石・南浮田

○高齢者ふれあいの場の継続支援

- ・体組成計を持参し、定期的に参加者の健康チェックを実施
- ・参加者同士の交流会を実施
- ・交流を深める事を目的に「大鰐町：鰐come」等への小旅行を実施

○高齢者ふれあいの場の広報誌の発行

・各ふれあいの場へ年4回 (7月号・10月号・12月号・3月号) 発行

○「いきいき菜園」を活用した高齢者の居場所づくり

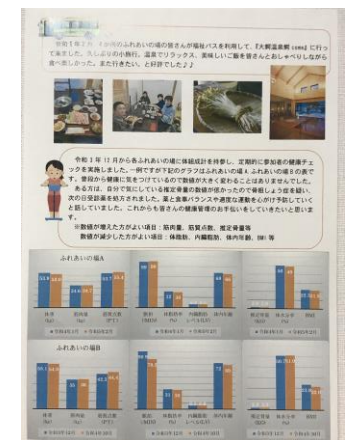
- ・野菜の苗植えを舞戸保育所年長児、身障会、デイサービス利用者、地域住民と実施
- ・高齢者ふれあいの場の参加者が草取りを実施
- ・周知することを目的に、社協広報11月号に掲載

○生活支援・介護予防等に関する各種研修への参加

・令和4年11月14日 (月)【深浦町生活お助け隊連絡会及び研修会】



《交流会の様子》



《ふれあいの場 広報紙3月号》



《居場所づくり》

◆福祉安心電話サービス事業（緊急通報体制整備事業）

(委託料:1,500,000円)

365日、24時間体制の福祉安心電話の設置により、体調の急変時や相談への対応と福祉安心電話協力員などによる見守り活動を実施しました。

- ・**新規設置 6台 (△1台)**
理由：一人が不安 緊急時の備えなど
- ・**退会 (取り外し) 9台 (△3台)**
理由：子どもと同居、施設入所など
- ・**設置台数 (合計) 49台 (△3台)**

- ・**協力員数：140人 (△5名)**
＜内訳＞
民生委員・近隣の知人・
身内（兄弟・子供）など

実施状況

毎月1日と15日は電話を利用してもらうよう促すほか、年1回は自宅を訪問し協力員のデータ確認と機器のメンテナンス（電池交換）を実施した。



<通報等の状況> ※県社協受信分を含む

着信状況	件数	対応状況	件数	着信状況	件数	対応状況	件数
緊急ボタン	21件	救急車・協力員要請	2件	停電通報	17件	協力員要請	2件
		その他（誤報含む）	19件			【原因】 雷・雪・電力工事・コンセント抜け落ち・ブレーカー関係など	
相談	172件	救急車・協力員要請	1件	その他	11件	故障通報	8件
		定期連絡など	171件			電池切れ	3件

◆配食サービス

○生活支援サービス事業

※補助金 696,000円

21

高齢者及び障がい者等を対象に、保温容器を使用し食事を提供しました。また、安否確認のため手渡しを基本とし、異変があれば関係機関への情報提供を行いました。 ※1食 ⇒ 300円

<補助対象者状況>

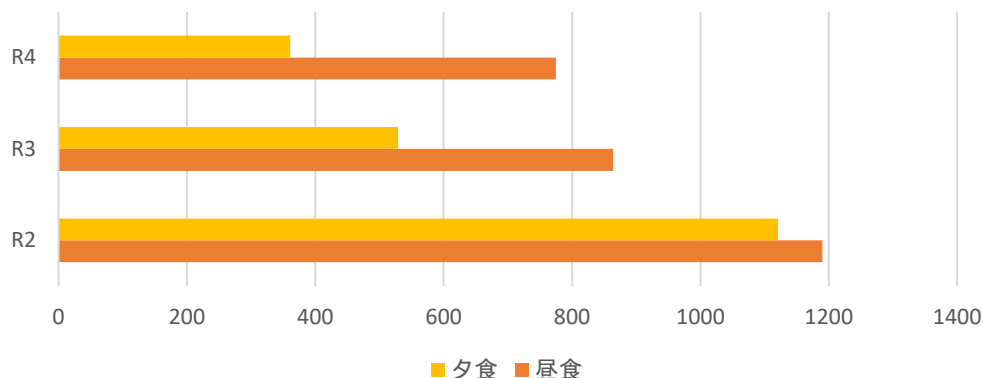
- ・継続者 7名 ・新規者 1名
- ・解約者 4名
- ・登録者 4名 (3月31日付)

<補助対象外者状況>

- ・継続者 1名 ・新規者 0名
- ・登録者 1名 (3月31日付)

<配達実績>

	昼食	夕食
R2	1,190食	1,121食
R3	864食	529食
R4	775食	361食
差異 (R4-R3)	▲89食	▲168食



◆その他 (生活困窮者等への配食: [自主事業により町補助対象外](#))

経済的な困窮により一時的に食事が確保できず、生命の維持に危険性をおよぼす恐れがある方や引きこもりにて安否確認などが必要な方に対し、フードバンク事業と併用し食料の確保や[無料で配食](#)を提供する取り組みをしています。



◆福祉バス運行事業 (町委託事業：委託料 2,057,500円)

	福祉バス	福祉バス(ワゴン)
4月	鱒ヶ沢町(ワクチン)	
5月	新田ほのぼの会(町内) 太陽クラブ(大鰐) 鱒ヶ沢町身体障害者福祉会(町内)	
6月	鱒ヶ沢町政策推進課(弘前) 舞戸婦人会(中泊) 太陽クラブ(青森) 鱒ヶ沢町老人クラブ連合会(町内)	鱒社協(買い物支援)
7月	鱒ヶ沢町(ワクチン) 鱒ヶ沢町老人クラブ連合会(町内) 鱒ヶ沢町議会事務局(青森・板柳) 太陽クラブ(田舎館)	鱒社協(買い物支援)
8月	鱒ヶ沢町(ワクチン) 鱒ヶ沢町(町内)	鱒社協(買い物支援)
9月	太陽クラブ(青森) 鱒社協(町内)	鱒社協(買い物支援)
10月	鱒ヶ沢町(ワクチン) 鱒ヶ沢町老人クラブ連合会(青森・つがる) 鱒社協(町内) 太陽クラブ(黒石)	鱒社協(買い物支援)
11月	鱒ヶ沢町(ワクチン) 鱒社協(青森) 太陽クラブ(青森) 合同会社再び(五所川原) 館生き生きクラブ(青森)	鱒社協(買い物支援)
12月	鱒社協(青森・大鰐) 鱒ヶ沢町老人クラブ連合会(五所川原)	鱒社協(買い物支援)
1月	鱒ヶ沢町消防団(町内) 鱒ヶ沢町身体障害者福祉会(町内)	鱒社協(買い物支援)
2月	鱒社協(ふれあいの場:大鰐)(町内) 鱒ヶ沢町消防団(町内)	鱒社協(買い物支援)
3月	鱒ヶ沢町身体障害者福祉会(町内) 太陽クラブ(五所川原) 鱒社協(ふれあいの場:大鰐) 鱒社協(弘前)	鱒社協(買い物支援)

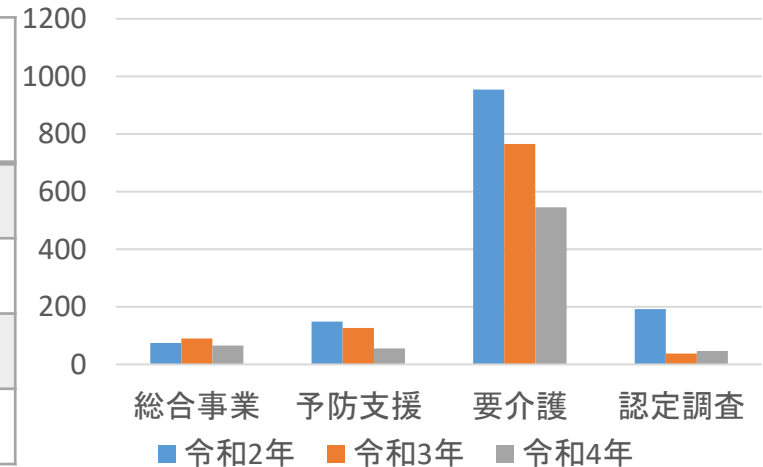
《毎月随時保守・点検を実施》

《介護保険事業》

◆居宅介護支援事業 (収入)7,075,670円-(支出)6,724,115円=(差額)351,555円

在宅で暮らしたい意思を尊重して、在宅生活の中で不足するサービスのマネージメント（調整）を行いました。

	総合事業 サービス計画	予防支援 サービス計画	要介護サー ビス計画	要介護認定 調査
令和2年度	75件	149件	955件	193件
令和3年度	90件	127件	766件	38件
令和4年度	66件	56件	546件	47件
差異	△24件	△71件	△220件	9

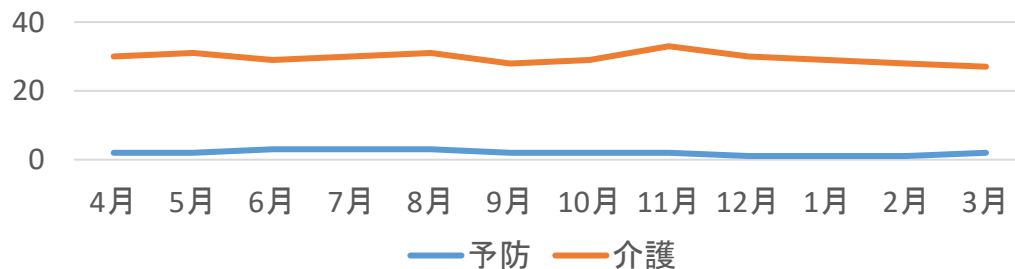


◆福祉用具貸与事業 (収入)4,817,450円-(支出)3,231,912円=(差額)1,585,538円

要介護・要支援者の日常生活上の便宜を図り、家族の介護の負担軽減などを目的として、心身の状況、本人の希望や生活環境等をふまえて、福祉用具を貸与しました。

《利用人数》

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	2	2	3	3	3	2	2	2	1	1	1	2	24
介護	30	31	29	30	31	28	29	33	30	29	28	27	356



◆**通所介護事業（地域密着型）**（収入）18,671,821円－（支出）16,368,815円＝（差額）2,303,006円

○送迎・入浴・食事・レクリエーションを通して日常生活動作訓練を実施。（定員18名）

【年間延べ利用人数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度	306	667	672	837	3	101	0	2,586
令和4年度	357	561	940	520	0	114	0	2,492
差異	51	△106	268	△317	△3	13	0	△94

※令和4年度の稼働日数：262日 平均人数：9.5人

新規者：6名（予防3名・給付3名）

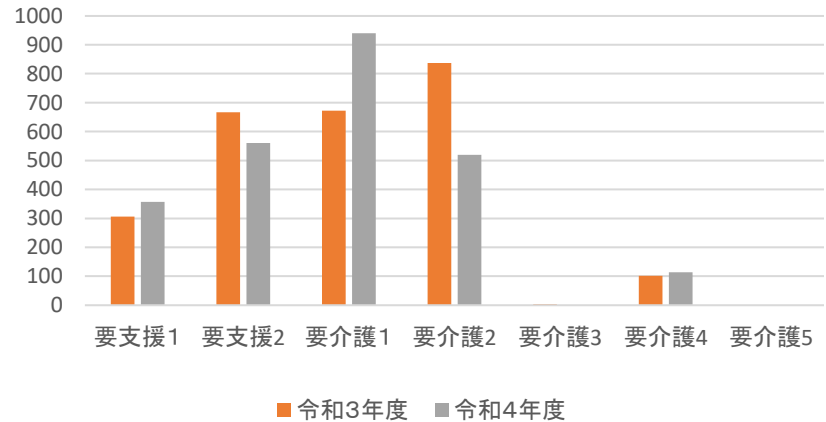
解約者：8名（入所4名・死亡2名・その他3名）

※その他の理由（家族の都合で一時的に利用、軽度者で不要となる）

☆**運営推進会議**

委員5名（利用者・家族など）

	第1回	第2回
開催日	令和4年12月5日	令和5年3月22日
参加人数	5名	4名



◆**高齢者自立支援デイサービス事業（自主事業）**

（収入）85,360円－（支出）43,298円＝（差額）42,062円

○要介護状態等への移行を予防するため、公的サービスとは別に契約し通所サービスを提供しました。

新規利用者：0名

利用者：1名 解約者：1名（介護保険へ移行）



「菜の花畑へ地域散策」



「大人気のイベント食」

《障害者支援事業》

◆地域生活支援事業：委託事業

受託金収入：2,101,875円

(相談支援事業・通学通所支援事業・日中一時支援事業・生活サポート事業)

在宅により生活する障害者及びその家族の地域における生活を支援し、障害者等の社会参加の促進を図るため実施しました。

事業名	相談支援事業	通学通所支援事業	日中一時支援事業	生活サポート事業
利用者数	0名	0名	6名	3名

障がい区分	知的	身体
人数	5名	1名

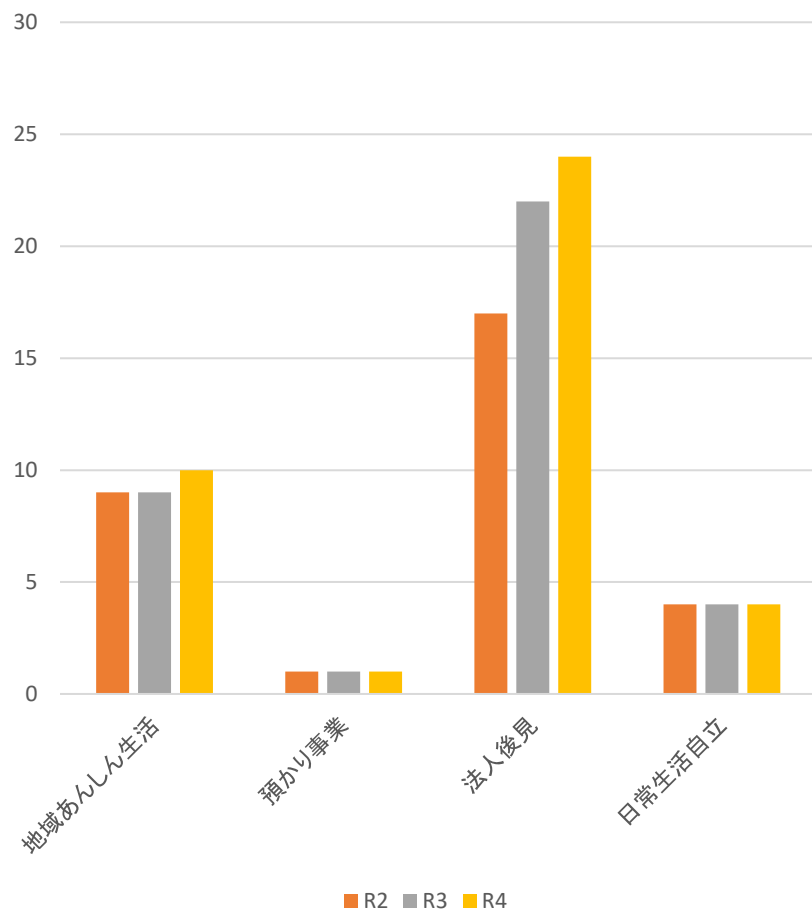
○日中一時支援事業年間延べ利用件数：425件（前年度比△117件）

※利用登録者数：6名のうち1名が終了、1名が新型コロナウイルス感染症予防のため利用されていないため減少

《在宅福祉事業》

～権利擁護支援が必要な方々が、安心して日常生活が送れるよう相談・支援などを実施しました。

- ①地域あんしん生活保証事業 (自主事業)
- ②日常生活費預かり事業(自主事業)
- ③法人後見 (自主事業)
- ④日常生活自立支援事業 (委託事業：青森県社協) ※委託料：273,000円



「3月31日現在の受任件数」

- ★地域あんしん生活保証事業
受任件数 9件
- ★日常生活費預かり事業
受任件数 1件
- ★法人後見
受任件数 23件
(後見：15件 保佐：4件 補助：4件)
- ★日常生活自立支援事業
受任件数 5件

○権利擁護センターあじがさわの運営

☆地域連携ネットワーク構築事業の実施（委託事業：鯉ヶ沢町・深浦町）

30

※委託料：6,000,000円

○運営協議会の開催（年2回）

●権利擁護センターあじがさわ第1回運営協議会

日時：令和4年6月2日（木）1時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：23名

内容：（1）報告 令和3年度事業実施報告について
（2）研修 事例から学ぶ 成年後見制度利用について

●権利擁護センターあじがさわ第2回運営協議会

日時：令和5年3月16日（木）1時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：22名

内容：（1）報告 令和5年度事業計画について
（2）研修 協議会（検討・専門的判断会議）
～被後見人死亡後の相続と権利擁護支援～



○検討・専門的判断会議の開催（年10回）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年4月20日（金）13時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：9名

内容：実績報告
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町2件・鯉ヶ沢町3件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年5月23日（月）10時00分～

場所：深浦町保健センター

参加者：7名

内容：実績報告
モニタリング・バックアップ検討・専門的判断
（深浦町2件）



●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年6月16日（木）13時30分～

場所：鯉ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：11名

内容：実績報告
権利擁護支援の方針について検討・専門的判断
（深浦町2件・鯉ヶ沢町1件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町1件・鯉ヶ沢町1件）
事例検討 鯉ヶ沢町1件

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年7月5日（火）13時30分～

場所：深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」

参加者：12名

内容：実績報告
権利擁護の方針について検討・専門的判断（鯉ヶ沢町3件）
モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町1件・鯉ヶ沢町1件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年10月28日（金）9時00分～

場所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：9名

内容：実績報告

権利擁護の方針についての検討・専門的判断
（深浦町1件・鰯ヶ沢町1件）

相談・報告（深浦町1件・鰯ヶ沢町1件）

令和4年度事業振返りと令和5年度事業について協議

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年12月8日（木）13時30分～

場所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：9名

内容：研修（1）地域あんしん生活保証事業について

（2）事例検討：地域あんしん生活保証事業利用者
について

実績報告 権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断
（深浦町1件・鰯ヶ沢町2件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和5年2月16日（木）1時30分～

場所：鰯ヶ沢町総合保健福祉センター

参加者：8名

内容：1月モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町2件・鰯ヶ沢町4件）

2月モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町1件・鰯ヶ沢町5件）

終了の報告（深浦町2件）

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和4年11月11日（金）13時00分～

場所：深浦町保健センター

参加者：8名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町1件・鰯ヶ沢町6件）

令和5年度事業計画・予算について

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和5年1月26日（木）1時30分～

場所：zoomオンライン

参加者：9名

内容：実績報告

モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町3件・鰯ヶ沢町2件）

権利擁護支援の方針についての検討・専門的判断（深浦町1件）
協議会 ・12月に検討した案件（鰯ヶ沢町）の報告
・今後の研修会開催計画について

●権利擁護センターあじがさわ検討・専門的判断会議

日時：令和5年3月22日（水）10時00分～

場所：深浦町保健センター

参加者：9名

内容：実績報告

3月分モニタリング・バックアップの検討・専門的判断
（深浦町2件・鰯ヶ沢町6件）

協議会 ・モニタリング様式を変更
・運営協議会の模擬検討・専門的会議に諮った案件
について

◆令和4年度研修会開催状況

・行政及び専門職との検討・専門的判断会議を通じ対応スキルの向上が必要であるため権利擁護相談支援スキルアップの研修会を開催しました。

年月日	テーマ	対象	参加人数
令和4年12月 8日	地域あんしん生活保証事業について	中核機関一次二次相談窓口	8名
令和4年12月27日	日常生活自立支援事業について	同上	17名
令和4年12月27日	代理権・同意権・取消権について	同上	10名
令和5年 1月19日	任意後見制度について	同上	16名
令和5年 2月13日	老いじたくについて	同上	17名
令和5年 2月20日	睡眠口座（休眠）と相続について	同上	17名
令和5年 2月27日	成年後見制度について	同上	14名

・意思決定支援や後見人等の役割について理解する研修会を開催しました。
事例から学ぶ ～成年後見制度～

年月日	対象	参加人数
令和4年7月19日	社会福祉法人 信青会	16名
令和4年8月 2日	社会福祉法人 愛児福祉会	8名
令和5年1月25日	グループホームいちえ	3名



«Zoomを利用した研修会の様子»

○各種貸付事業など○

◆生活福祉資金 (青森県社会福祉協議会からの事務委託)

低所得世帯等に対して、他からの借入が困難で償還可能で自立が見込まれる世帯を対象に貸付を行いました。

資金名(内容)	申込件数
総合支援資金(失業者に対して生活再建までの間に必要な生活費等)	0件
福祉資金(生業、就職、技能取得等に必要な経費等)	
教育支援資金(高校、大学、高専に就学するために必要な経費等)	
不動産担保型生活資金(一定の居住用不動産を有しその住居に住み続ける高齢者世帯への生活資金)	
緊急小口資金特例貸付(新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯への生活資金:上限20万)	1件
総合支援資金特例貸付(新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮した世帯への生活資金)(注1)	1件

(注1) 上限:2人以上世帯月20万以内・単身世帯月15万以内 貸付けは3ヶ月分まで

令和2年3月から令和4年9月末まで貸付を実施した新型コロナ特例貸付の償還が令和5年1月から開始されました。

資金種類	貸付件数	償還対象件数	償還免除件数	償還完了
緊急小口資金特例貸付	19件 (1件は来年度からの償還)	8件	5件 (※1)	5件
総合支援資金特例貸付	2件 (※2)			

※1 非課税世帯

※2 総合支援資金特例貸付については、据置期間が令和5年12月末まで

◆たすけあい資金

・借受人、連帯保証人共に破産の決定を受けた方、督促状を発送しましたが、宛名不明の方、宛所不明の方、最終償還から10年以上経過し消滅時効対象の方について欠損処分を実施しました。

【欠損処分した貸付】

資金種類	欠損件数	欠損額	貸付日	償還期日	貸付金額	最終償還日
①生活資金	1件	130,000円	H9.10.30	H10.10.30	150,000円	H10.3.31
②支度資金	1件	105,000円	H9.5.20	H10.5.20	150,000円	H21.4.30
③医療資金	1件	90,000円	S59.7.20	S60.5.31	200,000円	H9.6.27
合計	3件	325,000円			500,000円	

①破産が決定 ②宛名不明 ③宛所不明 の理由により欠損処理する

・低所得世帯等に対して、世帯の更生に必要な資金の貸付を行うことにより経済的自立の助長を図るため貸付を行いました。

・貸付状況<過年度分含>

(償還運動(年2回):文書通知など)

資金種類	R4申込件数	R4貸付金額	貸付残額	R4償還金額	残件数	残 額
①生活資金	1件	50,000円	50,000円	0円	1件	50,000円
②支度資金	0件	0円	214,000円	34,000円	2件	180,000円
③医療資金	0件	0円	58,000円	5,000円	1件	53,000円
④職員資格取得資金	0件	0円	0円	0円	0件	0円
合計	1件	50,000円	322,000円	39,000円	4件	283,000円

①～③貸付額: 50,000円まで(1年以内の償還)

④貸付額: 200,000円まで(2年以内の償還)

令和4年度末
貸付残高 283,000円 ()内はR3年度
(628,000円)

○自主事業○

◆外出支援サービス事業 (収入：55,160円)

通院及び転院・施設からの帰省など、公共の交通手段での移動が困難な方への支援を行いました。

○料金：時間制運賃（小型）15分1,240円 ※障がい手帳等所持者1割引

令和4年度	16件
-------	-----

※コロナ感染者を通院のため移送した他
緊急的に通院等が必要な方の移送を実施。

◆生活支援サポート派遣事業 (収入：3,450円)

○料金：10分(200円)×1時間(1,000円)×15分毎(350円)

介護保険等のサービスで対応できない方に独自の事業として、在宅生活の維持を目的とした取り組み。

令和4年度	1件
-------	----

※家族対応ができなくなったことで、院内の付き添いを実施。



◆車椅子貸与事業

プラタブで交換して得た車椅子を無料で貸与しました。(最長1ヶ月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3

【貸与理由】 退院後、自宅での移動手段として貸与（1か月間の貸与）、校内で生徒が利用する車いすとして西海小学校へ貸与など

◆福祉有償運送運転者講習

○受講料：12,000円 (収入：60,000円)

普通1種免許所持者が旅客運送（介護輸送）を行う場合に
必要な講習会（国土交通省認定）を実施しました。

日付	人数
令和4年4月9日(土)	5名



◆ボランティア関係事業



《空き缶・ペットボトル収集》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
空き缶 (kg)	390	390	450	480	390	570	270	360	390	360	330	390	4,680
ペットボトル (kg)	160	190	220	250	220	250	150	150	160	170	140	160	2,220
収益 (円)	13,750	13,915	16,060	17,215	14,080	20,185	9,735	12,705	13,750	9,845	11,660	13,750	166,650

《プルタブ収集》

年度	R1	R2	R3	R4
数量	3 3 6 Kg	2 3 7 Kg	2 1 4 Kg	1 6 8 Kg

<参考：令和3年度>

空き缶：4,410Kg ペットボトル：1,870Kg

・プルタブ協力延べ人数：100名 34団体

《交換実績》

令和4年4月 車椅子（自走式）1台と交換しました。

○令和4年度：古切手回収量(533g)

・古切手収集協力延人数：8名 6団体



《プルタブ750kgと交換》

【指定管理】

- ・総合保健福祉センター管理・経営

【団体事務】

- ・西津軽郡社会福祉協議会
- ・鱒ヶ沢町老人クラブ連合会
- ・鱒ヶ沢町身体障害者福社会

◆鯉ヶ沢町総合保健福祉センター指定

○福祉センター貸館状況（有料）

使用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
使用団体数	1	1	3	4	1	1	1	1	3	2	4	1	23団体
利用者数	7	8	46	54	18	18	18	15	32	9	22	22	269名

・住民のいこいの場となれるよう4月に桜の木の植樹を行いました。



◆団体事務

西津軽郡社会福祉協議会（広域事業）

○ふれあい交流広場（愛の輪レクリエーション：県社協指定事業）

※活動自粛により未実施

◆鯉ヶ沢町老人クラブ連合会事務

町内単位老人クラブ（21ヶ所）と連合会事業を通じて連携を図りました。

◆鯉ヶ沢町身体障害者福祉会事務

町内の障害者福祉団体の運営支援

※新たな会員の確保が難しいことや会員の高齢化に伴い、継続が困難であると判断し、総会で決議され令和5年3月31日付けで解散となった。